

海坂の芭蕉小祭り 吟行俳句会参加者募集

酒田
暑き日を海に入れたり最上川

芭蕉

鶴ヶ岡
めづらしや山を出羽の初茄子

芭蕉

当季雑詠二句
(当日にお題をお渡します)
当日 2 句、投句用紙にお書きください。

7 月 21 日(日)

10 時 30 分 丙申堂集合

11 時より 吟行(舟下り・呈茶会)

13 時 30 分より 講演会

15 時まで 投句・16 時より 表彰

終了後 懇親会

選者

阿部月山子(山形県俳人協会顧問 月山主宰)

伊藤 寛(山形県俳人協会会長)

畠山カツ子(三餘会主宰)

牧 静(山形県俳人協会副会長 人庄内会長)

賞 特選各 1 句・秀作各 1 句・佳作各 2 句 参加賞(全員)

羽黒山
涼しさやほの三か月の羽黒山

芭蕉

月山
雲の峰いくつ崩れて月の山

芭蕉

申し込み方法

会費 2000 円(当日お持ちください)

呈茶会・入館料・舟下り・懇親会 含む(舟下りは先着 20 名となります)

名簿作成のため申込書に所定の項目を記入の上、申し込み先

にお持ちになるか Tel・fax でお申し込みください。(7 月 15 日締切)

協賛・佐徳食品・鯉川酒造・阿部久書店

講演 土屋竹雨の書 7 月 21 日(日) 13:30~

講師 茂野柰園

茂野柰園(しげのだいえん)さんは山形県鶴岡市の大正時代から続く商家に生まれ、筑波大学芸術学群で書を専攻されました。千葉県立東葛飾高等学校講師などを経て、千葉県流山市西深井で小学生から成人対象の書道教室「三友書園」を主宰しています。

日展に 4 度入選され、読売書法会理事を務められるなど、実力派の書家である茂野さんは、書を志して 40 年、地元鶴岡が生んだ土屋竹雨の書に目を向け、筑波大学の大学院生として土屋竹雨の書について考察してきました。その研究成果の発表を兼ねて土屋竹雨の書についてのご講演をしていただきます。

句会 申し込み先 国指定重要文化財丙申堂 鶴岡市馬場町 1-17

お名前

住所

TEL

所属

☎ Fax 0235-22-0015